

# みちのく未来通信

2013年1月  
第3号

公益財団法人みちのく未来基金

〒981-3135  
宮城県仙台市泉区八乙女中央5丁目10番8号  
八乙女ユナイトビル2F  
電話番号 022 (343) 9996  
FAX 番号 022 (343) 9997  
E-mail info@michinoku-mirai.org  
HP http://michinoku-mirai.org/



みちのく未来基金は  
1歳になりました!

## 「御礼」

この1年多くの個人、法人、団体の皆様様の様々な温かいご支援をいただき、「みちのく未来基金」が子ども達と一緒に歩み始めました。皆様にあらためて篤く御礼申し上げます。ありがとうございました。

2011年10月21日、あの3.11東日本大震災で親を失った多くの子ども達の未来への扉を閉じさせてはならない。この子ども達の未来こそが被災地の未来との想いで「みちのく未来基金」をスタートさせました。

跡形もなくなった被災地の高校を廻り絶望の淵に立つ子ども達を支える先生にお会いし、進学を諦めさせない活動をするので是非子ども達に伝えて欲しいと、一方では何のノウハウも持ち合わせないまま基金のしくみ作りを奔走する、何から始めれば良いのか全てが手探りの素人集団でのスタートでした。

「目の前に待ったなしの子ども達がいる、4月に希望に向かって必ず旅立たせる」スタッフ一同この想いだけで歩んだ日々でした。2年目を迎え、単に奨学金の支援に留まらず子ども達との心のふれあいを通し、子ども達に学びながら一緒に成長していこうとスタッフ一同決意しております。この基金は最後の一人の奨学生が卒業するまでの長い支援を約束してスタートしました。

息の長い活動になりますので、末永いご支援を心よりお願い申し上げます。

公益財団法人みちのく未来基金 代表理事 長沼 孝義

## 「みちのく未来基金の1年の振り返り」

『みちのく未来基金』設立

【2011年】

- 3月 東日本大震災
- 4月 ロート製薬より震災遺児支援の構想提案
- 5月 被災地支援基金PJ発足
- 9月 岩手・宮城・福島の高専へ基金の案内開始  
『みちのく未来基金』と命名、記者発表
- 10月 一般財団法人 みちのく未来基金 設立
- 12月 公益財団法人 認定

【2012年】

- 1月 理事会開催
- 3月 1期生96名給付、第1期生の集い実施  
選考委員会開催
- 7月 2期生109名エントリー受付
- 8月 第1期生夏の集い開催
- 9月 理事会開催



## 「みちのく未来基金第1期生96名の進学先」

東北文化学園大学	東北福祉大学	弘前大学	新潟大学	東京農業大学
宮城学院女子大学	日本大学	国学院大学	専修大学	東京福祉大学
東北学院大学	亜細亜大学	埼玉医科大学	筑波大学	東北大学
山形大学	愛知学院大学	埼玉工業大学	神田外語大学	東北福祉大学
尚絅学院大学	一橋大学	首都大学東京	青森公立大学	東北薬科大学
盛岡大学	宇都宮大学	秋田看護福祉大学	帝京科学大学	明星大学
石巻専修大学	岩手医科大学	昭和大学	帝京平成大学	立命館大学
東北工業大学	岩手大学	城西大学	東海大学	福島県立医科大学
東北生活文化大学	拓殖大学北海道短期大学	聖和学園短期大学	宮城誠真短期大学	
東北電子専門学校	日本工学院専門学校	仙台ビューティーアート専門学校		
日本ホテルスクール専門学校	仙台医療福祉専門学校	仙台医療秘書福祉専門学校		
日本外国語専門学校	仙台幼児保育専門学校	仙台大原簿記情報公務員専門学校		
北日本医療福祉専門学校	岩手看護専門学校	国際トラベル&ホテル専門学校		
悠久山栄養調理専門学校	仙台理容美容専門学校	ESPミュージカルアカデミー専門学校		
鶴舞看護専門学校	亀田医療技術専門学校	盛岡カレッジオブビジネス専門学校		
東京商科学院専門学校	資生堂美容技術専門学校	仙台コミュニケーションアート専門学校		
BLEA 専門学校	東北動物看護学院専門学校	北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ専門学校		
エコール辻東京専門学校	東京IT会計法律専門学校	北日本ヘア・スタイリストカレッジ専門学校		

## 第1期(2011年10月～2012年9月)決算報告 (単位:円)

奨学金給付費用	74,169,792	(実際に進学先へ支払った入学金+授業料/減免措置含む)
奨学生交流費用	3,757,921	(みちのく生対象の交流イベント等費用)
運営管理費用	10,115,834	(事務所運営管理費用)
費用支出合計	88,043,547	
寄附金総額	449,540,595	
残 額	361,497,048	
受取利息	28,984	
次年度繰越額	361,526,032	

※なお詳細につきましては、ホームページにございます財務諸表をご覧ください※

## 「継続寄附のお願い」

震災児約1700名の進学の夢を叶えるべく、みちのく未来基金はこれから約25年間活動をしてまいります。給付金額は約40～50億円が必要と見込んでおりますが、まだまだ給付金が不足しております。どうか今後も継続したご寄附をお願い致します。

**七十七銀行** 店舗コード: 本店 100 普通預金 口座番号 7951345     **三菱東京UFJ銀行** 店舗コード: 仙台支店 314 普通預金 口座番号 0271354  
**ゆうちょ銀行** ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込 記号 18150 記号 27549411     **共通** 口座名義 公益財団法人 みちのく未来基金  
 他銀行からゆうちょ銀行へのお振込 店名 八一八 店番 818 普通預金 口座番号 2754941     口座カナ名義 ザイ)ミチノクミライキキ  
**クレジットによるご寄附の場合** ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてご寄附ください。  
**みちのく未来基金のご寄附は寄附金控除の対象となります。**

### ＜発起企業＞

カゴメ株式会社 / カルビー株式会社 / ロート製薬株式会社

### ＜支援企業・団体＞

株式会社アンズコーポレーション / 岩井機械工業株式会社 / 株式会社ヴァンネット / エバラ食品工業株式会社 / エムスリー株式会社 / 株式会社大木株式会社O2 (オーツー) / 株式会社カナエ / NPO 法人キャットミント / コクヨ東北販売株式会社 / 小菅株式会社 / 株式会社サークルKサンクス / 三和工業株式会社 / 株式会社CDG / 株式会社関本組 / 大地みらい信用金庫 / 不二製油株式会社 / 富士ゼロックス宮城株式会社 / BLEA / 北陸朝日放送株式会社 / 株式会社ホスピタリティエージェント / 株式会社薬王堂 / 八千代電設工業株式会社 / ユニー株式会社 / 医療法人社団 和幸会

### ＜後援企業・団体＞

岩手日報社 / 河北新報社 / 株式会社ガリバーインターナショナル / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 福島民報社 / 公立学校法人宮城大学 (五十音順)

その他ご協力頂いている全ての皆様へ感謝致します。  
Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.

# 「入学半年後のみちのく生紹介」

寄附者の皆様ありがとうございます。皆様からのご寄附により、2012年4月に入学したみちのく1期生2名をご紹介します。

## 小林 祥子



震災前は、人の為に何かしたいという夢があって、その中でも『美容師』という職業に就きたいと思っていました。父には「美容師になるね」と言ったら、父が「決めたからには、ちゃんとならなきゃいけないぞ。そしてお前が美容師になったら、一番最初に俺の髪を切ってもらうから。」と言ってくれたのを今でも覚えています。

でも、そんな父が職場で津波にさらわれてしまいました。本当に、「もうダメだ、諦めよう」と思いました。父も亡くなってしまい、姉も大学に通っているの、自分は就職して家族を養っていかなきゃいけないと思い、進学を諦めていました。そんな時、みちのく未来基金という基金と出会って、こうして今、自分の夢を叶えるために、一歩前進しています。みなさんに感謝しています。



## 菅野 明俊



自分がまだ小さかった小学1年生か2年生の頃、いろいろな工作を手伝ってくれたり、設計図の書き方を教えてくれたりと、モノ作りに興味を持つきっかけを作ってくれたのが父でした。なので将来は工学部に進んで何かモノを作ってみたくて考えていました。そんな中、3.11に震災があって、両親が津波で流されてしまい、家も全部無くなってしまったので、すぐに大学進学という気持ちにはなかなかならず、やっぱり働かない状況だと思っていました。

でもみちのく未来基金のおかげで、大学に進学することができました。自分はモノを作る時に仕組みから考えて、モノを作っていく事が好きなので、大学で勉強したことを活かした研究職に就けるととても嬉しいですし、そうなれるように日々勉強しています。

# 「震災1年半を迎えて、あるみちのく生からのメッセージ紹介」

昨日で1年半…いつの間にかそんなに時間が経ってんだなってTVに地元が映ってんの見て思った。  
 この1年半。色んなこと経験してきたし感じてきた。たくさんの人に支えられて励まされてここまで来れたんだなって。  
 ほんといくら感謝しても足りないくらい。あの日からわたしの生活は一変した。それまで当たり前だったことが当たり前でなくなった。  
 水も電気も食べ物も水がない不便さ、電気がない恐怖、食べるものがない不安、生きるって大変なんだなって改めて実感した。  
 どうしたらいいかわからない毎日を生きていくのでいっぱい。どれだけ泣いたかわからない。  
 誰にも会いたくないし、何もしたくない。そんな日がずっと続いた。大学目指してたけど学校がいつ再開するかもわからない。  
 いや、それ以前に進学できる？諦めるべき？いろんなこと考えた。お母さん一人にして東京行きたくない。学費は大丈夫かな？  
 迷ったりもしたけどお母さんは背中を押してくれた。「お父さんもきっと応援してくれてるよ！」って…  
 お父さんはいつもわたしの大学進学について真剣に考えてくれていた。色んな大学の本を読んで付箋を貼って！「この大学どうだ？」って。その時は、またかよ…って適当に聞き流したりもしたけど、今考えるとほんとわたしのことを考えてくれてたんだなって。  
 だから今通ってる大学もお父さんが見つけてくれた大学。保育士になりたい！っていうわたしのためにお父さんが探してくれた。  
 ほんと今更だけどありがとう。そして、そこに通えているってことは、みちのく未来基金の方々をはじめとするたくさんの方々のおかげ。  
 感謝の気持ち絶対忘れない。そしてわたしも誰かのために一生懸命になれる人になりたいと思った。感謝しても足りないけど。  
 本当に本当にありがとうございます。これからもがんばります。

2012年9月13日 震災一年半 N.S

# 「michi cafe」オープン ~みちのく生の語りの場がスタートしました~



みちのく未来基金では、みちのく生を対象に、気軽に集い語り合える「michi cafe」を開催しています。仙台会場・東京会場の2箇所で、月に1回、発起企業のオフィスの一角をお借りしてオープンしています。元気な顔を見せ合い、学校の友達には言いにくいような悩みも話せる、ほっとする場所づくりを目指して、10月からスタートし、毎回10人ほどが参加してくれるようになってきました。

一緒にランチをし、コーヒーを飲みながらお互いの近況報告をし合う中で、みちのく生同士の輪が徐々に広がりつつあります。

最初のうちはみんな遠慮がちでしたが、簡単な交流イベントをする事で初めて会う学生同士でも、よくよく話をすると実家が同じ地域であったり、共通の友達がいったり・・・と、話題が広がります。

「津波の事がフラッシュバックして眠れなくなる日がある。あの日の事を思い出すと涙が止まらない。」など他では言いづらい事を打ち明けてくれた子もいました。

一人で抱えてしまっては辛くなる事も、『ここでなら話せる、ここでならみんなと分かち合える』そんなみちのく生同士が共に支えあえる場所を今後も継続して作っていきます。

